



週報

入間ロータリークラブ



2018-2019 RI 会長:バリー・ラシン RI2570 地区ガバナー:茂木正 会長:齋藤栄作 幹事:豊田義継

第 6 号 3034 回例会 2018 年 8 月 9 日 (木)

<ビジター・ゲスト>

米山記念奨学生 李 秀美 様

先週は帰郷して双子を身ごもってる姉に会ってきました。



<❀会長の時間❀> 齋藤栄作会長

本日は長崎に原子爆弾が投下された日です。黙祷を捧げます。

1945 年 8 月 6 日午前 8 時 15 分、世界で始めてウラン型原子爆弾「リトルボーイ」が広島に投下されました、そして 8 月



9 日午前 11 時 2 分、世界で最後の原子爆弾プルトニウム型原子爆弾「ファットマン」が長崎に投下されました。「核兵器のない世界」を祈って本日、長崎平和公園では安倍晋三内閣総理大臣をはじめ米国のハガティ駐日大使、国連から現職では初めてグテレス事務総長が参列し平和祈念式典が開催されました。平和を望むロータリークラブとしても大いに関心を持つ事柄です。

1945 年 7 月 26 日、アメリカ合衆国、大英帝国、中華民国によって大日本帝国に対して「全日本軍の無条件降伏」を定めた 13 条からなるポツダム宣言が発せられました。1945 年 8 月 14 日日本政府がポツダム宣言の受け入れを連合国に通告しました。8 月 15 日玉音放送により日本の国民に公表されました。9 月 2 日、日本政府がポツダム宣言の履行等を定めた降伏文書(休戦協定)に調印しました。8 月 15 日を終戦記念日としているところに天皇陛下を中心とした日本人の国民性が伺えます。

さて、先週は 2018 年～19 年 2570 地区の茂木正ガバナーをお迎えしたガバナー公式訪問例会、お疲れ様でした。ガバナー公式訪問例会とは？2018 年～19 年度 RI 会長バリー・ラシン氏のインスピレーションになろうというテーマ、RI の方向性を地区内すべてのクラブに浸透させる事を目的に行われます。それでは入間 RC としてはどの様にお迎えすればよいのでしょうか？入間 RC を見ていただく事を第一に考えました。

2018～2019 年度のクラブ概況およびクラブ計画をご報告し、会長幹事、入会 3 年未満の会員との懇談会を通して入間 RC の歴史 60 年の重さを感じていただき、1975 年から 43 年間の歴史を持つ入間 RC 自慢のロータリー美術館を感じていただき、入間 RC 独自のロータリーソング「入間路に朝が来る」を聞いていただく。

クラブ協議会ではテーマの中に入間 RC の特色を盛り込み協議していただきました。

- 1:クラブのサポートと強化:会員増強の具体的な方法・会員維持の効果的方法?
- 2:人道的奉仕の重点化と増加;入間の子供達のための支援・ポリオ撲滅活動募金・ポリオの認識向上を目的とした行事開催
- 3:公共イメージと認知度の向上:入間 CATV、FM 茶笛、その他 SNS 等の活用・ロータリー活動を他団体に認知して貰う為には?

茂木正ガバナーからいただいた講評にはこれらの事が十分に盛り込まれておりました当日参加していただいたすべての会員に感謝をして会長の時間とします。

■ ■ ■ 会員卓話「我等の生業」 ■ ■ ■

☆ 杉田宏充会員 ☆

弊社（武蔵臨床検査所）は、私の父で現会長の杉田富徳が昭和41年に創業し今年で52年が過ぎました。創業のきっかけは、その頃医療機関で働いていた父が、周りのドクターから「これからは検査の時代だよ・・・」との助言や協力により後押しされ始めたと聞いております。



創業当時は自宅でうさぎを飼いその血液から試薬を作り、回収や検査や報告までほとんど一人で頑張ったとの事です。そして、昭和45年に臨床検査技師法が作られ、ようやくその地位が確立し高度成長とともに会社が育って行きました。現在は、営業エリアが埼玉県西部地区を中心に熊谷・秩父方面や多摩地区や練馬方面までとなり、おかげさまで社員数も100名を超えました。創業当時の「地域医療に貢献する」の理念の基、今後もその役目を果たして行ければと思います。

高齢化社会を迎え、上がり続ける社会保障費に対し、医療行政自体が地域包括を打ち出しています。検査点数は下がっていますが、他センターとの連携を図りながら時流に沿った会社運営が将来のこの地域への貢献と考えております。

☆ 細田浩司会員 ☆

昨年より飯能資材株式会社代表取締役役に就任いたしました。ロータリーも昨年九月に入会して約一年が経過しようとしています、いまだに、ロータリーの事で知らないことも多いですが、社会にそして国際平和に少しでも寄与できるように行動していきますので、どうぞご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願いします。



さて、東日本大震災からの復興や東京オリンピックを二年後に控え、建設需要が高まる中でございますが、建設業の有効

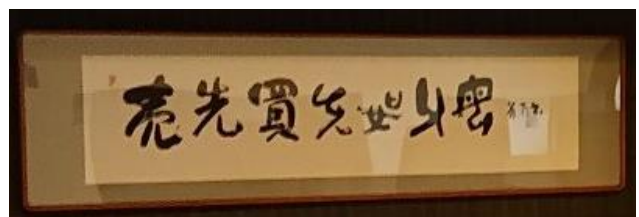
求人倍率は介護事業以上に高く、この業界の人手不足は深刻な問題です。この業界の最大の悩みは「人が足りない」ことです。技能者のリタイア、高齢化、若年層の減少が原因です。建設業は若い人たちから敬遠される、入ってもすぐに辞めてしまう業界の代表になってしまったのです。

「きつい」「汚い」「危険」の3K、以前、建設業は残念ながら、そう言われておりました。しかしながら、震災の復興を担ってきたのも、オリンピックという国家の一大プロジェクトに最も寄与しているのも、建設業です。高度経済成長期から今日まで、社会に必要なインフラを築く建設業は、なくてはならない産業です。

私は、こうした悪い流れを払拭する上でも、今後、会社を経営していく上で、社員の給与をこの地域のどの業界よりも上げていきたいと考えています。先日、合同就職説明会に参加した時に、うちの会社のブースにお越しになられた方に求人票の給与を「給与の金額が真剣だ」と言って褒められました。また、我が社では決算賞与を含め年3回のボーナスの支給をもう何年もずっと続けておりますが、都心の会社と比べれば、まだまだなはずです。

何を始めるにしても、「人」と「金」が必要です。また、社員がいなければ、会社にはなりません。いい人材を育成するには、ただ仕事をして、飯が食えるだけでなく、ゆとりが出来て、教養を身につけられるほどの給与水準は必要だと考えます。もし「会社」と「経営者個人」のどちらが大切か？を考えたときに、自分自身の生活も豊かなことに越したことがないですが、やはり私は、「会社」があつてのことなので、「個人」より「会社」を優先して行きたいです。

働き方改革により、今後、建設業も労働時間や休みの取り方も変わっていくでしょう。働く時間は短くなりますが、それでも今まで以上の給与水準を確保して会社経営を行って行ければ最高です。



座右の銘 売り先 買い先 父母の如し

✿山根輝彦会員✿

当院（医療法人社団 宏志会豊岡第一病院）は昭和48年7月に豊岡5丁目にて、故 山根宏夫が個人病院として開業をし、45年の間、当地入間市におきまして、病院を営んでおります。平成4年には、現在の入間市黒須へ新築



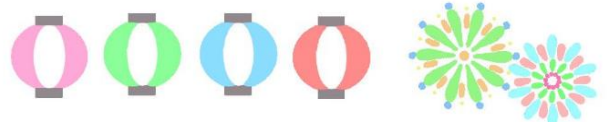
移転を行い、平成28年、事業継承と病院の健全継続運営を兼ねまして、医療法人化を実施致しました。現在、長男を理事長、次男を院長、事務長を三男の私が、事業を引継ぎ現在に至っております。病院には、大きく分けて急性期と療養型に分類され、当院は急性期型病院として、一般病床数78床、従業員数約180人の規模で運営しています。

基本理念としまして「地域住民の皆様にご信頼され、質の高い医療サービスを提供する病院を目指します。」と掲げ日々懸命に努力しております。医療機関でありますので、当該の医療サービス業と社会奉仕が入り交じっているとは思いますが、年に数回、日本赤十字社に協力して献血活動を行ったり、看護学校など病院で働く各分野の学生を対象に実習施設として協力したり、または地域住民への医療講習をも行ったりしております。

当院の近況ですが、隣接する場所に新しく3階建ての建物を作り手術室の増設を行い、現建物と新しい建物を繋げる事で、更なる利便性の向上を図ろうと考えております。保育室におきましても、現状は看護師だけが利用可能な保育施設となっておりますが、これを全職員向けに対応できるように拡張しようと併せて計画をしております。また、現在は検診や人間ドックの受診者様が検査の度に、病院内を行ったり来たりしているという状況ですので、健診ドックセンターを開設し利便性の向上を図る事、また少しではありますが、働く職員への福利厚生充実、事業の拡張と整理等も行っていこうと考えております。

今後の医療界では、現在、2025年に団塊の世代が満65歳を迎えるという問題に対して、国がどのように医療サービスを提供

していくかとバタバタと動き出しております。国を挙げて医療機関を整理しようとしています。埼玉県は、住民一人あたりの医師の数、医療機関の数がワースト1位ではありますが、国の予算等を考えると今後も厳しい政策が想定されます。そんな中で、当院は常に危機感を持って、末永く入間市の医療機関として、いつでも安心して受診ができ、より高度かつ先進の医療を行って、地域に貢献していきたいと思っております。



<幹事報告>

豊田義継幹事

<協議事項>

1. 9月、10月のプログラム
2. 前年度の決算について
3. 新旧役員慰労激励会会計
4. 社会福祉協議会
年会費1口10,000円
5. 万燈まつり協賛金 10,000円



<報告事項>

- 8/10 第52回インターアクト年次大会
8/14（火）・15（水）秩父音頭まつり
8/25（土）R財団部門セミナー
8/26（日）国際奉仕部門セミナー
RLI セミナー予定日 PI 9/8（土）
- 9/3（月）豊岡中学校区青少年健全育成推進会 あいさつ運動の実施
- ガバナー補佐より指名 IM 実行委員会
実行委員長 宮寺 成人
副実行委員長 水村 雅啓
副実行委員長 山岸 義弘

<ニコニコBOX>

木下登SAA

- ★来週父の新盆を迎えます 生前は皆様にご大変お世話になりました。「山根輝彦君」
- ★先週の公式訪問では会長はじめ皆様ご協力ありがとうございました。「細淵克則君」
- ★昨日 李さんが越生毛呂山の奨学生と2人で弊社に工場見学に来てくれました。工場見学は人生で初めてとの事で色々勉強されて帰られました。「一柳達朗君」

本日¥31,000 累計¥132,000

《今月のお祝い》

会員誕生日	森田英郎君 後藤健君 細田浩司君
夫人誕生日	齋藤純江様 荒井和子様 関根保子様

《地区役員感謝状》

木下登会員・吉永章子会員・忽滑谷明会員

《今年地区役員度委嘱状》

水村雅啓会員・友野政彦会員

●委員長報告

＜会員増強委員会＞ 一柳達朗委員長

23 日の西山荘での例会はロータリアン候補生の方を呼んでの会員増強例会となっています。皆さん候補の方に、是非お声を掛け多くの方に来ていただけますようお願い致します。



＜会報・雑誌委員会＞ 水村雅啓委員長

表紙はイラストレーターおかドド氏の作品。心温まるロータリアン参加の夏まつりを描いています。

- ・今月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。会員増強に成功するヒントが紹介されています。
 - 女性会員の増やすには。
 - ・全国ロータリークラブ野球大会が 35 回を迎えました。
 - ・ロータリーデーを開催しよう。
 - ・SPEECH 第 2540 地区の地区大会での記念公演アサヒグループホールディングス(株)会長泉谷氏の「変化をチャンスに」。
 - ・クラブを訪ねて…入間クラブとはぼ同じ、創立 60 周年を迎えた「横浜西 RC」を紹介。
- ロータリー情報満載です。熟読ください。



＜親睦活動委員会＞ 後藤健委員長

30 日の納涼夜間に多くの方で盛り上げて頂きます様、よろしくお願い致します。又、23 日の例会後、親睦委員会を開きたいと思いますので、委員の方は少しの時間お集まりください。



＜ロータリー美術館＞ 齋藤金作館員

ガバナー公式訪問ではご協力感謝いたします。2570 地区幹事の渋澤健司様からお礼状が届き、私達も儀礼を尽くさないといけないと思いました。

往復はがきの返信や年賀状を出さなかった時には皆さん持って来ていただき、小さな積み重ねで財団に協力してください。宜しくお願い致します。



＜出席報告＞ 白幡英悟委員長

会員数	出席数	出席率	前回修正率
44 名	28 名	70.00%	64.10%

事前欠席連絡 7 名

■回覧、配布物

- ① ロータリーの友 8 月号
- ② 航空自衛隊入間基地を巡る開催ご案内
- ③ いるティー投票・応援のお願い
- ④ 日豪青年相互訪問団報告書
- ⑤ 事業参加費表
- ⑥ ロータリー日本財団寄付者の皆様へ
- ⑦ 他ロータリークラブ週報&お知らせ
- ⑧ 8/23 西山荘通常例会出欠表
- ⑨ 8/30 納涼夜間例会出欠表
- ⑩ 8/30 入間 RC 第 1 回ゴルフ会出欠表
- ⑪ 入間 RC 週報 3, 4, 5 号

発行 入間ロータリークラブ

■事務所：〒358-0023 入間市扇台 3-3-7 ハイッ斎竹 101 号 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788

■Email iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

■例会場：丸広百貨店入間店 6 F バンケットホール Tel. 04-2963-1111

■例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長：水村雅啓



Rotary